

デーリー東北  
2019年(令和元年)5月8日(水曜日) (22)

ラッピングバスお披露目

八工大生  
デザイン 下北ジオパークPR

下北ジオパーク推進協議  
会(会長・宮下宗一郎むつ



下北ジオパークをPRする  
ラッピングバスと、デザイ  
ンした高橋祐賢さん(左か  
ら2人目)と高野亜子さん  
(同3人目) 117日、むつ  
市役所駐車場

市長)は7日、八戸工業大  
(長谷川明学長)と連携し  
て導入に取り組んできた  
ラッピングバスをお披露  
目した。バスは同大の学生  
が下北地域の観光名所など  
をこだわりの色合いや構図  
で描いた。同日から下北交  
通の路線で運行されてい  
る。

デザインしたのは、同大  
感性デザイン学部創生デザ  
イン学科3年の高橋祐賢さ  
ん(20)11階上町11と高野亜  
子さん(20)11野辺地町11。  
昨年12月に同市で開かれた  
デザイン案発表会で採用が  
決まり、全体の構図や細部  
などを詰めてきた。

高橋さんは「資源を循環  
活用する人とジオの叡智」  
がコンセプト。オレンジ色  
をベースに鮮やかな配色  
で、恐山や寒立馬などをデ  
ザインした。高野さんは「ジ

オサイトと共に暮らす人々  
の魅力」がテーマ。下北交  
通バスの車体と同じく、白  
と赤の色を基調に、イルカ  
ウオッチングや漁の様子を  
描いた。

7日、むつ市役所駐車場  
でバスの完成披露会が行わ  
れ、高橋さんは「下北地域  
のエネルギーに負けないよ  
うな配色にした」とこだわ  
った点を説明。高野さんは

「全体的に一体感が出るよ  
うにデザインした。そこを  
見てもらえれば」とアピー  
ルしていた。

宮下市長は「恐山が開山  
し、観光シーズンの幕開け  
のこの時期に素晴らしいバ  
スが完成した。このバスを  
契機に、下北ジオパークの  
活動が世界に発信されるこ  
とを期待する」と語った。  
(橋端智和)